

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和7年12月11日

作成担当部署 宮城県黒川郡大衡村 企画財政課

2 第三セクター名等

第三セクター名 株式会社 万葉まちづくりセンター

第三セクター所在地 〒 981-3608 宮城県黒川郡大衡村松の平3丁目4番34号

電話番号 (022) 347 - 2188

設立年月日 平成 17 年 3 月 15 日 ホームページアドレス <http://www.ohira-manvo.co.jp/manyou.html>

3 資本金

10,000 千円 (当該地方公共団体の出資割合 65 %)

4 事業内容

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------|------------------|
| ①公共・公益施設の管理・運営 | ⑧人材紹介・派遣業及び各種請負業 | ⑮消防設備工事 |
| ②農畜産物及び地場産品の創出・加工・販売 | ⑨農作業の受委託及び斡旋 | ⑯合併処理浄化槽の管理業務 |
| ③バス運行業務 | ⑩不動産の販売、賃貸、仲介、管理 | ⑰各種食品の仕入れ販売 |
| ④水道メーター等の検針業務 | ⑪観光・レクリエーション施設の運営・管理 | ⑱造園及び土木施工管理業務 |
| ⑤各種催物の企画・制作・運営 | ⑫旅行代理業 | ⑲前各号に附帯関連する一切の業務 |
| ⑥食堂の経営及び食料品・清涼飲料水・酒類・煙草の販売 | ⑬介護保険法に基づく介護サービス、福祉用具貸与及び販売 | |
| ⑦衣料・スポーツ用品及び日用雑貨の販売 | ⑭火災報知機及び消防機器の点検並びに販売 | |

5 財務状況

貸借対照表から	項 目	金額(円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	総資産	148,864,204	149,510,356	160,051,787
	負債	80,600,059	80,514,141	90,140,357
	(うち有利子負債)	(0)	(0)	(0)
	資本	68,264,145	68,996,215	69,911,430
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項 目	金額(円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	403,021,026	402,910,742	388,584,574
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金等)	(165,150,351)	(164,877,275)	(144,373,732)
	経常損益	5,833,791	8,489,633	12,777,806
	当期損益	457,807	832,070	1,015,215
	減価償却前当期損益	5,204,059	7,360,773	5,526,545

6 役職員の状況(役職員数、平均年齢:令和7年4月1日現在／平均年収:令和6年度実績)

役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)
3	64.0	4,026	54	60.4	2,070

7 第三セクターへの関与の状況

(1)公的支援

項 目	金額(円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①補助金(助成金)	0	0	0	
②利子補給金	0	0	0	
③税の減免額	0	0	0	
④その他(出資金)	0	0	0	
小 計	0	0	0	—
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0	
⑥出資金、低利貸付等に伴う機会費用	0	0	0	
小 計	0	0	0	—
合 計	0	0	0	—

(参考)主な委託業務	159,701,725	158,700,533	163,990,836	村指定管理料+除草作業委託料+戸別合併処理浄化槽管理料ほか
------------	-------------	-------------	-------------	-------------------------------

(2)その他

項 目	金額(円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
①損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
②貸付金残高	0	0	0	
③出資金	0	0	0	
合 計	0	0	0	

8 地方公共団体による監査結果

貸借対照表、損益計算書等に係る経理処理は適正に処理されている。

9 地方公共団体による点検評価の結果

経営状況についての予備的診断における評価		A	A:経営努力を行いつつ事業は継続、B:事業内容の大幅見直し等による抜本的な経営改善が必要、C:深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは事業の存廃をも含めた検討が必要
今後の方向性	A	A:経営努力を行いつつ現状のまま存続、イ:事業内容等の見直しを行った上で存続、ウ:再建を行いつつ存続、エ:廃止又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡、オ:その他()	
(今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等)			
経営状況は良好と認められる。			
(その他)			

10 その他の特記事項